

紙上法話

仏道をならふといふは

センター布教師 仁平寺住職 田中 大道



昨秋、中国新聞社で道元禅師の足跡を訪ねる旅が企画され、現地講習会の講師として同行しました。大本山永平寺での参籠は、在家の参加者もおおいに期待される場所ですが、僧侶である私も懐かしい思い出と共に楽しみにしていたコースのひとつです。私が修行僧として初めて永平寺に上山したのは平成七年の春のこと。もう十七年も前のことになりましたが、往事の事が昨日のこのように偲ばれました。

私の実家は寺院ではなく、父は会社員で母は小さな美容院を営むごく一般的な家庭でした。ひとりっ子でしたから、幼い頃から両親の愛情を一身に受けて育てられました。今にして思えば不自由を感じる事もなく本当に恵まれた環境だったと思います。ですから私が仕事を辞めてお坊さんになると言い出した時の父母の反応は予想以上で、特に母親の嘆き様は尋常でなく「なんであんたがお坊さんにならんといけんのかね。」と涙ながらに反対し、決して首を縦に振ろうとはしませんでした。世間の親が齢三十の息子に期待するところといえば仕事も軌道に乗って来て、ぼちぼち結婚などもして落ち着いてくれることでしょうかから、父母の反応は当然すぎる程当然で、今でも当時の事を思い出す度に申し訳ない気持ちでいっぱいになります。しかし私としてはお坊さんになる以上、大切なものをあれこれあきらめて、それなりに切迫した状況でもありましたから譲れない一線でもありました。

センター布教師ご紹介

岡山	一〇二番	万福寺	翁 泰仙	〒716-0335	高梁市成羽町不寄二三七	☎(0866)45-2568
広島	五四番	少林寺	峯岡俊徳	〒723-0032	三原市須波西二丁目二十三番一号	☎(0848)67-0510
山口	三七番	安養寺	渡辺勝人	〒747-0825	防府市新田古前一二四六	☎(0835)22-1865
山口	八番	仁平寺	田中大道	〒753-0214	山口市大内御堀四二〇一	☎(083)927-4464
鳥取	一五一番	安国寺	森下慈孝	〒683-0831	米子市寺町五〇	☎(0859)22-3836
島根	二五八番	宝福寺	森山容光	〒699-4431	江津市桜江町長谷四一一	☎(0855)92-1396
島根	一八七番	養善寺	西古孝道	〒699-1343	雲南市木次町湯村九〇〇	☎(0854)48-0371

道元禅師の教えに「仏道をならふといふは自己をならふ也。自己をならふといふは自己をわするるなり。」とあるように修行道場での生活は、それまでの自分をそれこそ日常の一挙一投足にいたるまで仏道の形かたに矯正する課程でもあります。それには自ら道を求める志はもちろんのこと、教えを具現的に実践して見せてくれる師や互いに励まし合いながら道を学ぶ友が不可欠です。それらの関係の中からわれわれ知れず「学人の自己」は形成されていくのでしょう。仏道修行は決して独りで出来るものではないのです。

お坊さんの世界を全く知らずに私はこの道に飛び込みましたが、そんな私を永平寺はまるごと受け入れてくれました。そこには幸い仏道のきわめて古風な形が残存し、生涯の師となる人との出逢いがあり、苦楽を共に分かちあう法友との出逢いがありました。私は初めて価値観を共有できる理解者を得た気がしました。とかく峻厳な側面ばかりが強調して語られることの多い永平寺ですが、実は懐の深い包容力のある場所でもあるのです。現在もその懐の中で幾人かの「学人の自己」が育っていることでしょう。